

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 1 Meeting People

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現在形や現在進行形を正しく用いて表現することができる。 ・自分や身近な人のことについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢が見られる。
-------------	---

		話す (やり取り)	話す (発表)	書く
知識・技能	目標	<知識> 動詞の現在形や現在進行形の意味や働きについて理解している。(TASK-B/D) <技能> 動詞の現在形や現在進行形を用いて、自分のことや身近な人のことについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B/D)	<知識> 動詞の現在形や現在進行形の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 動詞の現在形や現在進行形を用いて、自分のことや身近な人のことについて、話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 動詞の現在形や現在進行形の意味や働きについて理解している。(TASK-A/D) <技能> 動詞の現在形や現在進行形を用いて、自分の朝の習慣などについて、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	動詞の現在形や現在進行形を適切に用いて、自分のことや身近な人のことについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	動詞の現在形や現在進行形の表現を適切に用いて、自分のことや身近な人のことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	動詞の現在形や現在進行形を用いて、自分のことや身近な人のことについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	動詞の現在形や現在進行形を用いて、自分のことや身近な人のことについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	動詞の現在形や現在進行形の表現を適切に用いて、自分のことや身近な人のことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	動詞の現在形や現在進行形を用いて、自分の朝の習慣などについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、動詞の現在形や現在進行形を用いて、自分のことや身近な人のことについて、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、動詞の現在形や現在進行形の表現を用いて、自分のことや身近な人のことについて、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、動詞の現在形や現在進行形を用いて、自分の朝の習慣などについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	自分のことや身近な人のことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-B/D) (SHARE)	自分のことや身近な人のことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	自分の朝の習慣についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	自分のことや身近な人のことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	自分のことや身近な人のことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	自分の朝の習慣についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	自分のことや身近な人のことについての情報を、話して伝え合うことができる。	自分のことや身近な人のことについての情報を、話すことができる。	自分の朝の習慣についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、自分のことや身近な人のことについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、自分のことや身近な人のことについての情報を、話すことができる。	助けがあれば、自分の朝の習慣についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	自分のことや今自分がしていることについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	自分のことや身近な人のことについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	自分の朝の習慣についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	自分のことや今自分がしていることについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	自分のことや身近な人のことについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	自分の朝の習慣についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	自分のことや今自分がしていることについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	自分のことや身近な人のことについての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	自分の朝の習慣についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、自分のことや今自分がしていることについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、自分のことや身近な人のことについての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、自分の朝の習慣についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 2 Holidays and Weekends

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・過去形や過去進行形などを正しく用いて表現することができる。 ・休日・週末にしたことについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
-------------	---

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	目標	<知識> 動詞の過去形や過去進行形の意味や働きについて理解している。(TASK-A/B) <技能> 動詞の過去形や過去進行形を用いて、過去にしたことについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A/B)	<知識> 動詞の過去形や過去進行形, used toの意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 動詞の過去形や過去進行形を用いて、自分の思い出について、話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 動詞の過去形や過去進行形, used toの意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 動詞の過去形や過去進行形を用いて、過去の出来事などについて、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	動詞の現在形や現在進行形を適切に用いて、自分のことや身近な人のことについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	動詞の過去形や過去進行形, used toの表現を適切に用いて、自分の思い出について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	動詞の過去形や過去進行形, used toを用いて、過去の出来事などについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	動詞の現在形や現在進行形を用いて、自分のことや身近な人のことについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	動詞の過去形や過去進行形, used toの表現を適切に用いて、自分の思い出について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	動詞の過去形や過去進行形, used toを用いて、過去の出来事などについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、動詞の過去形や過去進行形を用いて、過去にしたことについて、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、動詞の過去形や過去進行形, used toの表現を用いて、自分の思い出について、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、動詞の過去形や過去進行形, used toを用いて、過去の出来事などについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	過去にしたことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A/B) (SHARE)	自分の思い出についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	過去の出来事についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	過去にしたことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	自分の思い出についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	過去の出来事についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	過去にしたことについての情報を、話して伝え合うことができる。	自分の思い出についての情報を、話すことができる。	過去の出来事についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、過去にしたことについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、自分の思い出についての情報を、話すことができる。	助けがあれば、過去の出来事についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	自分の思い出についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	自分の思い出についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	過去の出来事についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	自分の思い出についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	自分の思い出についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	過去の出来事についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする姿勢が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	自分の思い出についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	自分の思い出についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	過去の出来事についての情報を、書こうとする姿勢が見られる。
	c	助けがあれば、自分の思い出についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、自分の思い出についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、過去の出来事についての情報を、何とか書こうとする姿勢が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 3 Making Plans

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・未来の表現を正しく用いて表現することができる。 ・予定について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
-------------	---

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	目標	<知識> 未来の表現の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 未来の表現を用いて、夏の予定について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B)	<知識> 未来の表現の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 未来の表現を用いて、留学先での計画について、話す技能を身につけている。(TASK-D)	<知識> 未来の表現の意味や働きについて理解している。(TASK-A/C) <技能> 未来の表現を用いて、休日の計画などについて、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	未来の表現を適切に用いて、夏の予定について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	未来の表現の表現を適切に用いて、留学先での計画について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	未来の表現を用いて、休日の計画などについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	未来の表現を用いて、夏の予定について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	未来の表現の表現を適切に用いて、留学先での計画について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	未来の表現を用いて、休日の計画などについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、未来の表現を用いて、夏の予定について、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、未来の表現の表現を用いて、留学先での計画について、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、未来の表現を用いて、休日の計画などについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	夏の予定についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-B)	休日の計画についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	休日の計画についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	夏の予定についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	休日の計画についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	休日の計画についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	夏の予定についての情報を、話して伝え合うことができる。	休日の計画についての情報を、話すことができる。	休日の計画についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、夏の予定についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、休日の計画についての情報を、話すことができる。	助けがあれば、休日の計画についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	夏の予定についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B)	休日の計画についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	休日の計画についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	夏の予定についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	休日の計画についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	休日の計画についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	夏の予定についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	休日の計画についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	休日の計画についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、夏の予定についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、休日の計画についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、休日の計画についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 4 Travel

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形を正しく用いて表現することができる。 ・旅行や移動について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	目標	<知識> 動詞の現在完了形の意味や働きについて理解している。(TASK-A/B) <技能> 動詞の現在完了形を用いて、旅行や移動に関する経験などについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A/B)	<知識> 動詞の現在完了形の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 動詞の現在完了形を用いて、旅に関する経験について、話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 動詞の現在完了形の意味や働きについて理解している。(TASK-C/D) <技能> 動詞の現在完了形を用いて、旅先から送るメールやはがきを、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	動詞の現在完了形を適切に用いて、旅行や移動に関する経験などについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	動詞の現在完了形の表現を適切に用いて、旅に関する経験について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	動詞の現在完了形を用いて、旅先から送るメールやはがきを、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	動詞の現在完了形を用いて、旅行や移動に関する経験などについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	動詞の現在完了形の表現を適切に用いて、旅に関する経験について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	動詞の現在完了形を用いて、旅先から送るメールやはがきを、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、動詞の現在完了形を用いて、旅行や移動に関する経験などについて、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、動詞の現在完了形の表現を用いて、旅に関する経験について、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、動詞の現在完了形を用いて、旅先から送るメールやはがきを、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	旅行や移動に関する経験などについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A/B) (SHARE)	旅に関する経験についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	旅先から送るメールやはがきを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	旅行や移動に関する経験などについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	旅に関する経験についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	旅先から送るメールやはがきを、論理的に詳しく書くことができる。
	b	旅行や移動に関する経験などについての情報を、話して伝え合うことができる。	旅に関する経験についての情報を、話すことができる。	旅先から送るメールやはがきを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、旅行や移動に関する経験などについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、旅に関する経験についての情報を、話すことができる。	助けがあれば、旅先から送るメールやはがきを、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	旅に関する経験についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	旅に関する経験についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	旅先から送るメールやはがきを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	旅に関する経験についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	旅に関する経験についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	旅先から送るメールやはがきを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする姿勢が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	旅に関する経験についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	旅に関する経験についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	旅先から送るメールやはがきを、書こうとする姿勢が見られる。
	c	助けがあれば、旅に関する経験についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、旅に関する経験についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、旅先から送るメールやはがきを、何とか書こうとする姿勢が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 5 Study and Activities

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・過去完了形を正しく用いて表現することができる。 ・学習・課外活動について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	目標	<知識> 動詞の過去完了形の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 動詞の過去完了形を用いて、高校入学時点でしていたことについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 動詞の過去完了形の意味や働きについて理解している。(CHECK-C) <技能> 動詞の過去完了形を用いて、すべきことができなかった状況と理由について、話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 動詞の過去完了形の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 動詞の過去完了形を用いて、学年末の時点でどうなっているかについて、書く技能を身につけている。(TASK-D)
	a	動詞の過去完了形を適切に用いて、高校入学時点でしていたことについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	動詞の過去完了形の表現を適切に用いて、すべきことができなかった状況と理由について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	動詞の過去完了形を用いて、学年末の時点でどうなっているかについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	動詞の過去完了形を用いて、高校入学時点でしていたことについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	動詞の過去完了形の表現を適切に用いて、すべきことができなかった状況と理由について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	動詞の過去完了形を用いて、学年末の時点でどうなっているかについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、動詞の過去完了形を用いて、高校入学時点でしていたことについて、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、動詞の過去完了形の表現を用いて、すべきことができなかった状況と理由について、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、動詞の過去完了形を用いて、学年末の時点でどうなっているかについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	高校入学時点でしていたことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A)	すべきことができなかった状況と理由についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	学習や課外活動についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	高校入学時点でしていたことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	すべきことができなかった状況と理由についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	学習や課外活動についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	高校入学時点でしていたことについての情報を、話して伝え合うことができる。	すべきことができなかった状況と理由についての情報を、話すことができる。	学習や課外活動についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、高校入学時点でしていたことについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、すべきことができなかった状況と理由についての情報を、話すことができる。	助けがあれば、学習や課外活動についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	高校入学時点でしていたことについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A)	すべきことができなかった状況と理由についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	学習や課外活動についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	高校入学時点でしていたことについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	すべきことができなかった状況と理由についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	学習や課外活動についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	高校入学時点でしていたことについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	すべきことができなかった状況と理由についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	学習や課外活動についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、高校入学時点でしていたことについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、すべきことができなかった状況と理由についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、学習や課外活動についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 6 Food

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 可能や許可などを表す助動詞を正しく用いて表現することができる。 食べ物や食事に関することについて話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	目標	<知識> 可能や許可などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 可能や許可などを表す助動詞を用いて、食べ物や飲み物について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-C)	<知識> 可能や許可などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 可能や許可などを表す助動詞を用いて、与えられた状況の原因について、話す技能を身につけている。(TASK-D)	<知識> 可能や許可などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 可能や許可などを表す助動詞を用いて、好きな【苦手な】食べ物について、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	可能や許可などを表す助動詞を適切に用いて、食べ物や飲み物について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	可能や許可などを表す助動詞の表現を適切に用いて、与えられた状況の原因について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	可能や許可などを表す助動詞を用いて、好きな【苦手な】食べ物について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	可能や許可などを表す助動詞を用いて、食べ物や飲み物について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	可能や許可などを表す助動詞の表現を適切に用いて、与えられた状況の原因について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	可能や許可などを表す助動詞を用いて、好きな【苦手な】食べ物について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、可能や許可などを表す助動詞を用いて、食べ物や飲み物について、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、可能や許可などを表す助動詞の表現を用いて、与えられた状況の原因について、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、可能や許可などを表す助動詞を用いて、好きな【苦手な】食べ物について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	食べ物や飲み物についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-C)	好きな食べ物についての情報を、論理的に詳しく話することができる。(SHARE)	好きな【苦手な】食べ物についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	食べ物や飲み物についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	好きな食べ物についての情報を、論理的に詳しく話することができる。	好きな【苦手な】食べ物についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	食べ物や飲み物についての情報を、話して伝え合うことができる。	好きな食べ物についての情報を、話すことができる。	好きな【苦手な】食べ物についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、食べ物や飲み物についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、好きな食べ物についての情報を、話すことができる。	助けがあれば、好きな【苦手な】食べ物についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	食べ物や飲み物についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C)	好きな食べ物についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	好きな【苦手な】食べ物についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	食べ物や飲み物についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	好きな食べ物についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	好きな【苦手な】食べ物についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	食べ物や飲み物についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	好きな食べ物についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	好きな【苦手な】食べ物についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、食べ物や飲み物についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、好きな食べ物についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、好きな【苦手な】食べ物についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 7 School Life

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・義務や確信などを表す助動詞を正しく用いて表現することができる。 ・学校生活について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
-------------	---

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	目標	<知識> 義務や確信などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 義務や確信などを表す助動詞を用いて、学校生活でしなければならないことについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 義務や確信などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 義務や確信などを表す助動詞を用いて、学校の規則について、話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 義務や確信などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B/D) <技能> 義務や確信などを表す助動詞を用いて、目的のために「必要なこと・すべきこと」について、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	義務や確信などを表す助動詞を適切に用いて、学校生活でしなければならないことについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	義務や確信などを表す助動詞の表現を適切に用いて、学校の規則について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	義務や確信などを表す助動詞を用いて、目的のために「必要なこと・すべきこと」について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	義務や確信などを表す助動詞を用いて、学校生活でしなければならないことについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	義務や確信などを表す助動詞の表現を適切に用いて、学校の規則について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	義務や確信などを表す助動詞を用いて、目的のために「必要なこと・すべきこと」について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、義務や確信などを表す助動詞を用いて、学校生活でしなければならないことについて、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、義務や確信などを表す助動詞の表現を用いて、学校の規則について、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、義務や確信などを表す助動詞を用いて、目的のために「必要なこと・すべきこと」について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	学校生活でしなければならないことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A)	学校の規則についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	目的のために「必要なこと・すべきこと」についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	学校生活でしなければならないことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	学校の規則についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	目的のために「必要なこと・すべきこと」についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。
	b	学校生活でなければならないことについての情報を、話して伝え合うことができる。	学校の規則についての情報を、話すことができる。	目的のために「必要なこと・すべきこと」についての考えを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、学校生活でなければならないことについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、学校の規則についての情報を、話すことができる。	助けがあれば、目的のために「必要なこと・すべきこと」についての考えを、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	学校生活でなければならないことについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A)	学校の規則についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目的のために「必要なこと・すべきこと」についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	学校生活でなければならないことについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	学校の規則についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	目的のために「必要なこと・すべきこと」についての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする姿勢が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	学校生活でなければならないことについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	学校の規則についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	目的のために「必要なこと・すべきこと」についての考えを、書こうとする姿勢が見られる。
	c	助けがあれば、学校生活でなければならないことについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、学校の規則についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、目的のために「必要なこと・すべきこと」についての考えを、何とか書こうとする姿勢が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 8 Daily Life

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・意志や推量などを表す助動詞を正しく用いて表現することができる。 ・日常生活について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
-------------	---

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	目標	<知識> 意志や推量などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B/D) <技能> 意志や推量などを表す助動詞を用いて、家事の依頼について、伝え合う技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 意志や推量などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 意志や推量などを表す助動詞を用いて、与えられた状況で思いつくことについて、話す技能を身につけている。(TASK-C)	<知識> 意志や推量などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 意志や推量などを表す助動詞を用いて、今年のうちにしよと思うことなどについて、書く技能を身につけている。(TASK-A)
	a	意志や推量などを表す助動詞を適切に用いて、家事の依頼について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	意志や推量などを表す助動詞の表現を適切に用いて、与えられた状況で思いつくことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	意志や推量などを表す助動詞を用いて、今年のうちにしよと思うことなどについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	意志や推量などを表す助動詞を用いて、家事の依頼について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	意志や推量などを表す助動詞の表現を適切に用いて、与えられた状況で思いつくことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	意志や推量などを表す助動詞を用いて、今年のうちにしよと思うことなどについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、意志や推量などを表す助動詞を用いて、家事の依頼について、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、意志や推量などを表す助動詞の表現を用いて、与えられた状況で思いつくことについて、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、意志や推量などを表す助動詞を用いて、今年のうちにしよと思うことなどについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	家事の依頼についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(SHARE)	与えられた状況で思いつくことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(TASK-C)	家事の依頼についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	家事の依頼についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	与えられた状況で思いつくことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	家事の依頼についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	家事の依頼についての情報を、話して伝え合うことができる。	与えられた状況で思いつくことについての情報を、話すことができる。	家事の依頼についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、家事の依頼についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、与えられた状況で思いつくことについての情報を、話すことができる。	助けがあれば、家事の依頼についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	家事の依頼についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	与えられた状況で思いつくことについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C)	家事の依頼についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	家事の依頼についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	与えられた状況で思いつくことについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	家事の依頼についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	家事の依頼についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	与えられた状況で思いつくことについての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	家事の依頼についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、家事の依頼についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、与えられた状況で思いつくことについての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、家事の依頼についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 9 Transportation Issues

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・受動態を正しく用いて表現することができる。 ・交通機関の問題について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	目標	<知識> 受動態の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 受動態を用いて、与えられた設定について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 受動態の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 受動態を用いて、通学路や交通施設の問題について、話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 受動態の意味や働きについて理解している。(TASK-B/C) <技能> 受動態を用いて、交通問題の改善案について、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	受動態を適切に用いて、与えられた設定について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	受動態の表現を適切に用いて、通学路や交通施設の問題について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	受動態を用いて、交通問題の改善案について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	受動態を用いて、与えられた設定について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	受動態の表現を適切に用いて、通学路や交通施設の問題について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	受動態を用いて、交通問題の改善案について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、受動態を用いて、与えられた設定について、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、受動態の表現を用いて、通学路や交通施設の問題について、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、受動態を用いて、交通問題の改善案について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	与えられた設定についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A)	通学路や交通施設の問題についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	交通問題の改善案についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	与えられた設定についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	通学路や交通施設の問題についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	交通問題の改善案についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。
	b	与えられた設定についての情報を、話して伝え合うことができる。	通学路や交通施設の問題についての情報を、話すことができる。	交通問題の改善案についての考えを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、与えられた設定についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、通学路や交通施設の問題についての情報を、話すことができる。	助けがあれば、交通問題の改善案についての考えを、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	与えられた設定についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A)	通学路や交通施設の問題についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	交通問題の改善案についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	与えられた設定についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	通学路や交通施設の問題についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	交通問題の改善案についての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	与えられた設定についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	通学路や交通施設の問題についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	交通問題の改善案についての考えを、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、与えられた設定についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、通学路や交通施設の問題についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、交通問題の改善案についての考えを、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 10 The Future

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の名詞用法を正しく用いて表現することができる。 将来したいことについて話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	目標	<知識> 不定詞の名詞用法の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 不定詞の名詞用法を用いて、将来の夢について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-D)	<知識> 不定詞の名詞用法の意味や働きについて理解している。(CHECK-B) <技能> 不定詞の名詞用法を用いて、夢や目標について、話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 不定詞の名詞用法の意味や働きについて理解している。(TASK-A/C) <技能> 不定詞の名詞用法を用いて、自分の夢などについて、書く技能を身につけている。(TASK-A/C)
	a	不定詞の名詞用法を適切に用いて、将来の夢について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	不定詞の名詞用法の表現を適切に用いて、夢や目標について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	不定詞の名詞用法を用いて、自分の夢などについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	不定詞の名詞用法を用いて、将来の夢について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	不定詞の名詞用法の表現を適切に用いて、夢や目標について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	不定詞の名詞用法を用いて、自分の夢などについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、不定詞の名詞用法を用いて、将来の夢について、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、不定詞の名詞用法の表現を用いて、夢や目標について、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、不定詞の名詞用法を用いて、自分の夢などについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	将来の夢についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-D)	夢や目標についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	夢や目標の実現に必要と思うことについて、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	将来の夢についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	夢や目標についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	夢や目標の実現に必要と思うことについて、論理的に詳しく書くことができる。
	b	将来の夢についての情報を、話して伝え合うことができる。	夢や目標についての情報を、話すことができる。	夢や目標の実現に必要と思うことについて、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、将来の夢についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、夢や目標についての情報を、話すことができる。	助けがあれば、夢や目標の実現に必要と思うことについて、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	将来の夢についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-D)	夢や目標についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	夢や目標の実現に必要と思うことについて、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	将来の夢についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	夢や目標についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	夢や目標の実現に必要と思うことについて、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	将来の夢についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	夢や目標についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	夢や目標の実現に必要と思うことについて、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、将来の夢についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、夢や目標についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、夢や目標の実現に必要と思うことについて、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 11 Staying Healthy

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の形容詞・副詞用法を正しく用いて表現することができる。 健康について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
-------------	---

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	目標	<知識> 不定詞の形容詞用法の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 不定詞の形容詞用法を用いて、具合悪い相手に対する心配の気持ちを、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 不定詞の形容詞用法の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 不定詞の形容詞用法を用いて、健康維持に必要と思うことについて、話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 不定詞の形容詞・副詞用法の意味や働きについて理解している。(TASK-C/D) <技能> 不定詞の形容詞・副詞用法を用いて、与えられた状況に対する意見などについて、書く技能を身につけている。(TASK-C/D)
	a	不定詞の形容詞用法を適切に用いて、具合悪い相手に対する心配の気持ちを、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	不定詞の形容詞用法の表現を適切に用いて、健康維持に必要と思うことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	不定詞の形容詞・副詞用法を用いて、与えられた状況に対する意見などについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	不定詞の形容詞用法を用いて、具合悪い相手に対する心配の気持ちを、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	不定詞の形容詞用法の表現を適切に用いて、健康維持に必要と思うことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	不定詞の形容詞・副詞用法を用いて、与えられた状況に対する意見などについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、不定詞の形容詞用法を用いて、具合悪い相手に対する心配の気持ちを、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、不定詞の形容詞用法の表現を用いて、健康維持に必要と思うことについて、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、不定詞の形容詞・副詞用法を用いて与えられた状況に対する意見などについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	健康維持に必要と思うことなどについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A) (SHARE)	健康維持に必要と思うことについて、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	健康についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	健康維持に必要と思うことなどについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	健康維持に必要と思うことについて、論理的に詳しく話すことができる。	健康についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。
	b	健康維持に必要と思うことなどについての情報を、話して伝え合うことができる。	健康維持に必要と思うことについて、話すことができる。	健康についての考えを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、健康維持に必要と思うことなどについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、健康維持に必要と思うことについて、話すことができる。	助けがあれば、健康についての考えを、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	健康維持に必要と思うことについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	健康維持に必要と思うことについて、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	健康についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	健康維持に必要と思うことについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	健康維持に必要と思うことについて、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	健康についての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	健康維持に必要と思うことについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	健康維持に必要と思うことについて、話そうとする姿勢が見られる。	健康についての考えを、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、健康維持に必要と思うことについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、健康維持に必要と思うことについて、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、健康についての考えを、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 12 New Products

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・使役動詞・知覚動詞などを正しく用いて表現することができる。 ・新しい製品について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	目標	<知識> 使役動詞・知覚動詞などの意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 使役動詞・知覚動詞などを用いて、どこかに行こうという提案について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 使役動詞・知覚動詞などの意味や働きについて理解している。(SHARE) <技能> 使役動詞・知覚動詞などを用いて、便利な電化製品について、話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 使役動詞・知覚動詞などの意味や働きについて理解している。(TASK-B/D) <技能> 使役動詞・知覚動詞などを用いて、進化している技術などについて、書く技能を身につけている。(TASK-B/D)
	a	使役動詞・知覚動詞などを適切に用いて、どこかに行こうという提案について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	使役動詞・知覚動詞などの表現を適切に用いて、便利な電化製品について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	使役動詞・知覚動詞などを用いて、進化している技術などについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	使役動詞・知覚動詞などを用いて、どこかに行こうという提案について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	使役動詞・知覚動詞などの表現を適切に用いて、便利な電化製品について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	使役動詞・知覚動詞などを用いて、進化している技術などについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、使役動詞・知覚動詞などを用いて、どこかに行こうという提案について、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、使役動詞・知覚動詞などの表現を用いて、便利な電化製品について、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、使役動詞・知覚動詞などを用いて進化している技術などについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	便利な電化製品などについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A) (SHARE)	便利な電化製品についての情報を、論理的に詳しく話することができる。(SHARE)	最近の製品についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	便利な電化製品などについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	便利な電化製品についての情報を、論理的に詳しく話することができる。	最近の製品についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	便利な電化製品などについての情報を、話して伝え合うことができる。	便利な電化製品についての情報を、話すことができる。	最近の製品についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、便利な電化製品などについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、便利な電化製品についての情報を、話すことができる。	助けがあれば、最近の製品についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	便利な電化製品についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	便利な電化製品についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	最近の製品についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	便利な電化製品についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	便利な電化製品についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	最近の製品についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	便利な電化製品についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	便利な電化製品についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	最近の製品についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、便利な電化製品についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、便利な電化製品についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、最近の製品についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 13 Hobbies and Interests

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 動名詞を正しく用いて表現することができる。 趣味・関心について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
-------------	---

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	目標	<知識> 動名詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B/C) <技能> 動名詞を用いて、自分の好きなことと興味のあることなどについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B/C)	<知識> 動名詞の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 動名詞を用いて、趣味や興味について、話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 動名詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A/D) <技能> 動名詞を用いて、部活動や積極的に取り組んでいることについて、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	動名詞を適切に用いて、自分の好きなことと興味のあることなどについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	動名詞の表現を適切に用いて、趣味や興味について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	動名詞を用いて、部活動や積極的に取り組んでいることについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	動名詞を用いて、自分の好きなことと興味のあることなどについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	動名詞の表現を適切に用いて、趣味や興味について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	動名詞を用いて、部活動や積極的に取り組んでいることについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、動名詞を用いて、自分の好きなことと興味のあることなどについて、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、動名詞の表現を用いて、趣味や興味について、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、動名詞を用いて、部活動や積極的に取り組んでいることについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	自分の好きなことと興味のあることなどについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-B/C)	趣味や興味についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	部活動や積極的に取り組んでいることについて、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	自分の好きなことと興味のあることなどについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	趣味や興味についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	部活動や積極的に取り組んでいることについて、論理的に詳しく書くことができる。
	b	自分の好きなことと興味のあることなどについての情報を、話して伝え合うことができる。	趣味や興味についての情報を、話すことができる。	部活動や積極的に取り組んでいることについて、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、自分の好きなことと興味のあることなどについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、趣味や興味についての情報を、話すことができる。	助けがあれば、部活動や積極的に取り組んでいることについて、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	自分の好きなことと興味のあることなどについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B/C)	趣味や興味についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	部活動や積極的に取り組んでいることについて、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	自分の好きなことと興味のあることなどについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	趣味や興味についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	部活動や積極的に取り組んでいることについて、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	自分の好きなことと興味のあることなどについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	趣味や興味についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	部活動や積極的に取り組んでいることについて、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、自分の好きなことと興味のあることなどについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、趣味や興味についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、部活動や積極的に取り組んでいることについて、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 14 The World of Nature

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 分詞を正しく用いて表現することができる。 自然について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
-------------	---

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	目標	<知識> 分詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 分詞を用いて、自分の周りのよい自然や環境について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 分詞の意味や働きについて理解している (CHECK-B/D) <技能> 分詞を用いて、最近心を動かされたことなどについて、話す技能を身につけている。(TASK-B/D)	<知識> 分詞の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 分詞を用いて、自然・生態系が直面している問題について、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	分詞を適切に用いて、自分の周りのよい自然や環境について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	分詞の表現を適切に用いて、最近心を動かされたことなどについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	分詞を用いて、自然・生態系が直面している問題について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	分詞を用いて、自分の周りのよい自然や環境について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	分詞の表現を適切に用いて、最近心を動かされたことなどについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	分詞を用いて、自然・生態系が直面している問題について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、分詞を用いて、自分の周りのよい自然や環境について、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、分詞の表現を用いて、最近心を動かされたことなどについて、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、分詞を用いて自然・生態系が直面している問題について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	自然や動植物などについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A) (SHARE)	自然や動植物についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	自然・生態系が直面している問題についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	自然や動植物などについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	自然や動植物についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	自然・生態系が直面している問題についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	自然や動植物などについての情報を、話して伝え合うことができる。	自然や動植物についての情報を、話すことができる。	自然・生態系が直面している問題についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、自然や動植物などについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、自然や動植物についての情報を、話すことができる。	助けがあれば、自然・生態系が直面している問題についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	自然や動植物についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	自然や動植物についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	自然・生態系が直面している問題についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	自然や動植物についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	自然や動植物についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	自然・生態系が直面している問題についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする姿勢が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	自然や動植物についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	自然や動植物についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	自然・生態系が直面している問題についての情報を、書こうとする姿勢が見られる。
	c	助けがあれば、自然や動植物についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、自然や動植物についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、自然・生態系が直面している問題についての情報を、何とか書こうとする姿勢が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 15 Trouble and Accidents

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 分詞構文などを正しく用いて表現することができる。 トラブル・事故について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	目標	<知識> 分詞構文などの意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 分詞構文などを用いて、与えられた状況について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 分詞構文などの意味や働きについて理解している。(TASK-C/D) <技能> 分詞構文などを用いて、困った出来事について、話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 分詞構文などの意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 分詞構文などを用いて、最近の事故や出来事について、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	分詞構文などを適切に用いて、与えられた状況について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	分詞構文などの表現を適切に用いて、困った出来事について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	分詞構文などを用いて、最近の事故や出来事について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	分詞構文などを用いて、与えられた状況について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	分詞構文などの表現を適切に用いて、困った出来事について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	分詞構文などを用いて、最近の事故や出来事について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、分詞構文などを用いて、与えられた状況について、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、分詞構文などの表現を用いて、困った出来事について、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、分詞構文などを用いて最近の事故や出来事について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	困った出来事などについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A) (SHARE)	困った出来事についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	最近の事故や出来事についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	困った出来事などについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	困った出来事についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	最近の事故や出来事についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	困った出来事などについての情報を、話して伝え合うことができる。	困った出来事についての情報を、話すことができる。	最近の事故や出来事についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、困った出来事などについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、困った出来事についての情報を、話すことができる。	助けがあれば、最近の事故や出来事についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	困った出来事についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	困った出来事についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	最近の事故や出来事についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	困った出来事についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	困った出来事についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	最近の事故や出来事についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	困った出来事についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	困った出来事についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	最近の事故や出来事についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、困った出来事についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、困った出来事についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、最近の事故や出来事についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 16 Technology and Invention

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞を正しく用いて表現することができる。 ・技術・発明について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	目標	<知識> 関係代名詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B/C) <技能> 関係代名詞を用いて、与えられた人物の業績などについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B/C)	目標 <知識> 関係代名詞の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 関係代名詞を用いて、インタビュー音声の内容について、話す技能を身につけている。(TASK-D)	目標 <知識> 関係代名詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 関係代名詞を用いて、革新的な技術や発明について、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	関係代名詞を適切に用いて、与えられた人物の業績などについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 関係代名詞の表現を適切に用いて、インタビュー音声の内容について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 関係代名詞を用いて、革新的な技術や発明について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	関係代名詞を用いて、与えられた人物の業績などについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 関係代名詞の表現を適切に用いて、インタビュー音声の内容について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b 関係代名詞を用いて、革新的な技術や発明について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、関係代名詞を用いて、与えられた人物の業績などについて、何とか英語で伝え合うことができる。	c 助けがあれば、関係代名詞の表現を用いて、インタビュー音声の内容について、何とか英語で話すことができる。	c 助けがあれば、関係代名詞を用いて、革新的な技術や発明について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	与えられた人物の業績などについての感想を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-C)	目標 発明家や発明品についての情報を、論理的に詳しく話することができる。(SHARE)	目標 革新的な技術や発明についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	与えられた人物の業績などについての感想を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a 発明家や発明品についての情報を、論理的に詳しく話することができる。	a 革新的な技術や発明についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	与えられた人物の業績などについての感想を、話して伝え合うことができる。	b 発明家や発明品についての情報を、話すことができる。	b 革新的な技術や発明についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、与えられた人物の業績などについての感想を、何とか話して伝え合うことができる。	c 助けがあれば、発明家や発明品についての情報を、話すことができる。	c 助けがあれば、革新的な技術や発明についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	与えられた人物の業績などについての感想を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C)	目標 発明家や発明品についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標 革新的な技術や発明についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	与えられた人物の業績などについての感想を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 発明家や発明品についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 革新的な技術や発明についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	与えられた人物の業績などについての感想を、伝え合う姿勢が見られる。	b 発明家や発明品についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b 革新的な技術や発明についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、与えられた人物の業績などについての感想を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c 助けがあれば、発明家や発明品についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c 助けがあれば、革新的な技術や発明についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 17 Achievements

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞（非制限用法）などを正しく用いて表現することができる。 ・達成したことについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢が見られる。
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く		
知識・技能	目標	<知識> 関係代名詞（非制限用法）の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 関係代名詞（非制限用法）を用いて、自分が達成したこと・しなかったことについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B)	目標 <知識> 関係代名詞（非制限用法）の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 関係代名詞（非制限用法）を用いて、自分や自分の家族のことについて、話す技能を身につけている。(TASK-C)	目標 <知識> 関係代名詞（非制限用法）の意味や働きについて理解している。(TASK-A/B) <技能> 関係代名詞（非制限用法）を用いて、興味や関心のある有名人などについて、書く技能を身につけている。(TASK-A/B)		
	a	関係代名詞（非制限用法）を適切に用いて、自分が達成したこと・しなかったことについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	関係代名詞（非制限用法）の表現を適切に用いて、自分や自分の家族のことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	関係代名詞（非制限用法）を用いて、興味や関心のある有名人などについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	関係代名詞（非制限用法）を用いて、自分が達成したこと・しなかったことについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	関係代名詞（非制限用法）の表現を適切に用いて、自分や自分の家族のことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	関係代名詞（非制限用法）を用いて、興味や関心のある有名人などについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、関係代名詞（非制限用法）を用いて、自分が達成したこと・しなかったことについて、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、関係代名詞（非制限用法）の表現を用いて、自分や自分の家族のことについて、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、関係代名詞（非制限用法）を用いて、興味や関心のある有名人などについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	自分が達成したこと・しなかったことについて、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-B)	目標	功績を残した人についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	目標	自分やだれかが達成したことについて、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	自分が達成したこと・しなかったことについて、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	功績を残した人についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	a	自分やだれかが達成したことについて、論理的に詳しく書くことができる。
	b	自分が達成したこと・しなかったことについて、話して伝え合うことができる。	b	功績を残した人についての情報を、話すことができる。	b	自分やだれかが達成したことについて、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、自分が達成したこと・しなかったことについて、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、功績を残した人についての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、自分やだれかが達成したことについて、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	自分が達成したこと・しなかったことについて、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B)	目標	功績を残した人についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	自分やだれかが達成したことについて、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	自分が達成したこと・しなかったことについて、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	功績を残した人についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	自分やだれかが達成したことについて、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	自分が達成したこと・しなかったことについて、伝え合う姿勢が見られる。	b	功績を残した人についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	自分やだれかが達成したことについて、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、自分が達成したこと・しなかったことについて、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、功績を残した人についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、自分やだれかが達成したことについて、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 18 Cities and Towns

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・関係副詞などを正しく用いて表現することができる。 ・都市・町について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	目標	<知識> 関係副詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 関係副詞を用いて、行ったことがある場所について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B)	<知識> 関係副詞の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 関係副詞を用いて、日本の有名な観光地について、話す技能を身につけている。(TASK-C)	<知識> 関係副詞や複合関係詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A/D) <技能> 関係副詞を用いて、行きたい所や住みたい所などについて、書く技能を身につけている。(TASK-A/D)
	a	関係副詞適切に用いて、行ったことがある場所について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	関係副詞の表現を適切に用いて、日本の有名な観光地について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	関係副詞や複合関係詞を用いて、行きたい所や住みたい所などについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	関係副詞を用いて、行ったことがある場所について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	関係副詞の表現を適切に用いて、日本の有名な観光地について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	関係副詞や複合関係詞を用いて、行きたい所や住みたい所などについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、関係副詞を用いて、行ったことがある場所について、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、関係副詞の表現を用いて、日本の有名な観光地について、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、関係副詞や複合関係詞を用いて行きたい所や住みたい所などについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	修学旅行の行き先などについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-B) (SHARE)	修学旅行の行き先についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	歴史上の人物と、その人物にゆかりある都市についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	修学旅行の行き先などについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	修学旅行の行き先についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	歴史上の人物と、その人物にゆかりある都市についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	修学旅行の行き先などについての情報を、話して伝え合うことができる。	修学旅行の行き先についての情報を、話すことができる。	歴史上の人物と、その人物にゆかりある都市についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、修学旅行の行き先などについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、修学旅行の行き先についての情報を、話すことができる。	助けがあれば、歴史上の人物と、その人物にゆかりある都市についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	修学旅行の行き先についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	修学旅行の行き先についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	歴史上の人物と、その人物にゆかりある都市についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	修学旅行の行き先についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	修学旅行の行き先についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	歴史上の人物と、その人物にゆかりある都市についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	修学旅行の行き先についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	修学旅行の行き先についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	歴史上の人物と、その人物にゆかりある都市についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、修学旅行の行き先についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、修学旅行の行き先についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、歴史上の人物と、その人物にゆかりある都市についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 19 Living Environment

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 比較表現を正しく用いて表現することができる。 生活環境について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
-------------	---

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く		
知識・技能	目標	<知識> 比較表現の意味や働きについて理解している。(TASK-B/C) <技能> 比較表現を用いて、物件などを比較してどこに住むかについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B/C)	目標 <知識> 比較表現の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 比較表現を用いて、生活環境に関して比較したことについて、話す技能を身につけている。(TASK-A)	目標 <知識> 比較表現の意味や働きについて理解している。(WRITE) <技能> 比較表現を用いて、海外の都市と身近な都市を比較したことについて、書く技能を身につけている。(WRITE)		
	a	比較表現を適切に用いて、物件などを比較してどこに住むかについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	比較表現の表現を適切に用いて、生活環境に関して比較したことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	比較表現を用いて、海外の都市と身近な都市を比較したことについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	比較表現を用いて、物件などを比較してどこに住むかについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	比較表現の表現を適切に用いて、生活環境に関して比較したことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	比較表現を用いて、海外の都市と身近な都市を比較したことについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、比較表現を用いて、物件などを比較してどこに住むかについて、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、比較表現の表現を用いて、生活環境に関して比較したことについて、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、比較表現を用いて、海外の都市と身近な都市を比較したことについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	さまざまな生活環境を比較して老後に暮らす環境についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(SHARE)	目標	生活環境に関して比較したことについて、論理的に詳しく話すことができる。(TASK-A)	目標	海外の都市と身近な都市を比較したことについて、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	さまざまな生活環境を比較して老後に暮らす環境についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	生活環境に関して比較したことについて、論理的に詳しく話すことができる。	a	海外の都市と身近な都市を比較したことについて、論理的に詳しく書くことができる。
	b	さまざまな生活環境を比較して老後に暮らす環境についての情報を、話して伝え合うことができる。	b	生活環境に関して比較したことについて、話すことができる。	b	海外の都市と身近な都市を比較したことについて、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、さまざまな生活環境を比較して老後に暮らす環境についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、生活環境に関して比較したことについて、話すことができる。	c	助けがあれば、海外の都市と身近な都市を比較したことについて、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	さまざまな生活環境を比較して老後に暮らす環境についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	生活環境に関して比較したことについて、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A)	目標	海外の都市と身近な都市を比較したことについて、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	さまざまな生活環境を比較して老後に暮らす環境についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	生活環境に関して比較したことについて、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	海外の都市と身近な都市を比較したことについて、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	さまざまな生活環境を比較して老後に暮らす環境についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	生活環境に関して比較したことについて、話そうとする姿勢が見られる。	b	海外の都市と身近な都市を比較したことについて、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、さまざまな生活環境を比較して老後に暮らす環境についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、生活環境に関して比較したことについて、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、海外の都市と身近な都市を比較したことについて、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 20 Social Problems

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・最上級を正しく用いて表現することができる。 ・社会問題について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
-------------	---

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	目標	<知識> 最上級の意味や働きについて理解している。(TASK-B/D) <技能> 最上級を用いて、日常生活でできる環境に優しい活動などについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B/D)	<知識> 最上級の意味や働きについて理解している。(TASK-B/C) <技能> 最上級を用いて、社会問題に対してすべきことについて、話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 最上級の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 最上級を用いて、最も大きな問題だと思う社会問題について、書く技能を身につけている。(TASK-A)
	a	最上級を適切に用いて、日常生活でできる環境に優しい活動などについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	最上級の表現を適切に用いて、社会問題に対してすべきことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	最上級を用いて、最も大きな問題だと思う社会問題について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	最上級を用いて、日常生活でできる環境に優しい活動などについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	最上級の表現を適切に用いて、社会問題に対してすべきことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	最上級を用いて、最も大きな問題だと思う社会問題について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、最上級を用いて、日常生活でできる環境に優しい活動などについて、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、最上級の表現を用いて、社会問題に対してすべきことについて、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、最上級を用いて、最も大きな問題だと思う社会問題について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	日常生活でできる環境に優しい活動などについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-B/D)	社会問題に対してすべきことについての考えを、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	日本の社会が直面している問題についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	日常生活でできる環境に優しい活動などについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	社会問題に対してすべきことについての考えを、論理的に詳しく話すことができる。	日本の社会が直面している問題についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	日常生活でできる環境に優しい活動などについての情報を、話して伝え合うことができる。	社会問題に対してすべきことについての考えを、話すことができる。	日本の社会が直面している問題についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、日常生活でできる環境に優しい活動などについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、社会問題に対してすべきことについての考えを、話すことができる。	助けがあれば、日本の社会が直面している問題についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	日常生活でできる環境に優しい活動などについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B/D)	社会問題に対してすべきことについての考えを、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	日本の社会が直面している問題についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	日常生活でできる環境に優しい活動などについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	社会問題に対してすべきことについての考えを、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	日本の社会が直面している問題についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	日常生活でできる環境に優しい活動などについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	社会問題に対してすべきことについての考えを、話そうとする姿勢が見られる。	日本の社会が直面している問題についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、日常生活でできる環境に優しい活動などについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、社会問題に対してすべきことについての考えを、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、日本の社会が直面している問題についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 21 Making a Wish

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法を正しく用いて表現することができる。 ・願い事について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く		
知識・技能	目標	<知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 仮定法を用いて、自分がなりたい職業について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	目標 <知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(TASK-A/B/C) <技能> 仮定法を用いて、就きたい職業について、話す技能を身につけている。(SHARE)	目標 <知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 仮定法を用いて、自分かだれかの願望について、書く技能を身につけている。(SHARE)		
	a	仮定法を適切に用いて、自分がなりたい職業について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	仮定法の表現を適切に用いて、就きたい職業について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	仮定法を用いて、自分かだれかの願望について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	仮定法を用いて、自分がなりたい職業について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	仮定法の表現を適切に用いて、就きたい職業について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	b	仮定法を用いて、自分かだれかの願望について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、仮定法を用いて、自分がなりたい職業について、何とか英語で伝え合うことができる。	c	助けがあれば、仮定法の表現を用いて、就きたい職業について、何とか英語で話すことができる。	c	助けがあれば、仮定法を用いて、自分かだれかの願望について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	自分がなりたい職業についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A)	目標	就きたい職業についての情報を、論理的に詳しく話することができる。(SHARE)	目標	自分かだれかの願望についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	自分がなりたい職業についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	a	就きたい職業についての情報を、論理的に詳しく話することができる。	a	自分かだれかの願望についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	b	自分がなりたい職業についての情報を、話して伝え合うことができる。	b	就きたい職業についての情報を、話すことができる。	b	自分かだれかの願望についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、自分がなりたい職業についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	c	助けがあれば、就きたい職業についての情報を、話すことができる。	c	助けがあれば、自分かだれかの願望についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	自分がなりたい職業についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A)	目標	就きたい職業についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	目標	自分かだれかの願望についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	自分がなりたい職業についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	就きたい職業についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	自分かだれかの願望についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	自分がなりたい職業についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	b	就きたい職業についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	b	自分かだれかの願望についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、自分がなりたい職業についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	c	助けがあれば、就きたい職業についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	c	助けがあれば、自分かだれかの願望についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 22 Cross-cultural Communication

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞を正しく用いて表現することができる。 ・異文化理解について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢が見られる。
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	目標	<知識> 接続詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 接続詞を用いて、与えられた状況についての助言を、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 接続詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 接続詞を用いて、グローバル化について、話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 接続詞の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 接続詞を用いて、海外留学することについての意見を、書く技能を身につけている。(TASK-D)
	a	接続詞を適切に用いて、与えられた状況についての助言を、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	接続詞の表現を適切に用いて、グローバル化について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	接続詞を用いて、海外留学することについての意見を、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	接続詞を用いて、与えられた状況についての助言を、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	接続詞の表現を適切に用いて、グローバル化について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	接続詞を用いて、海外留学することについての意見を、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、接続詞を用いて、与えられた状況についての助言を、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、接続詞の表現を用いて、グローバル化について、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、接続詞を用いて、海外留学することについての意見を、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	与えられた状況についての助言を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A)	グローバル化についての意見を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	異文化理解で大切なことについての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	与えられた状況についての助言を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	グローバル化についての意見を、論理的に詳しく話すことができる。	異文化理解で大切なことについての考えを、論理的に詳しく書くことができる。
	b	与えられた状況についての助言を、話して伝え合うことができる。	グローバル化についての意見を、話すことができる。	異文化理解で大切なことについての考えを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、与えられた状況についての助言を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、グローバル化についての意見を、話すことができる。	助けがあれば、異文化理解で大切なことについての考えを、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	与えられた状況についての助言を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A)	グローバル化についての意見を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	異文化理解で大切なことについての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	与えられた状況についての助言を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	グローバル化についての意見を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	異文化理解で大切なことについての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	与えられた状況についての助言を、伝え合う姿勢が見られる。	グローバル化についての意見を、話そうとする姿勢が見られる。	異文化理解で大切なことについての考えを、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、与えられた状況についての助言を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、グローバル化についての意見を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、異文化理解で大切なことについての考えを、何とか書こうとする態度が見られる。

be English Logic and Expression I Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 23 Giving Opinions

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・that説を正しく用いて表現することができる。 ・問題について、自分の意見を話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢が見られる。
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	目標	<知識> that説の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> that説を用いて、国際社会や日々の生活の中で大切だと思うことについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> that説の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> that説を用いて、地球で起きている問題について、話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> that説の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> that説を用いて、身近な人が将来何で成功しそうかについて、書く技能を身につけている。(TASK-D)
	a	that説を適切に用いて、国際社会や日々の生活の中で大切だと思うことについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	that説の表現を適切に用いて、地球で起きている問題について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	that説を用いて、身近な人が将来何で成功しそうかについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	that説を用いて、国際社会や日々の生活の中で大切だと思うことについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	that説の表現を適切に用いて、地球で起きている問題について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	that説を用いて、身近な人が将来何で成功しそうかについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	助けがあれば、that説を用いて、国際社会や日々の生活の中で大切だと思うことについて、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、that説の表現を用いて、地球で起きている問題について、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、that説を用いて、身近な人が将来何で成功しそうかについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	目標	国際社会や日々の生活の中で大切だと思うことについての考えを、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A)	地球で起きている問題についての意見を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	地球で起きている問題に対してできることについての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	国際社会や日々の生活の中で大切だと思うことについての考えを、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	地球で起きている問題についての意見を、論理的に詳しく話すことができる。	地球で起きている問題に対してできることについての考えを、論理的に詳しく書くことができる。
	b	国際社会や日々の生活の中で大切だと思うことについての考えを、話して伝え合うことができる。	地球で起きている問題についての意見を、話すことができる。	地球で起きている問題に対してできることについての考えを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	助けがあれば、国際社会や日々の生活の中で大切だと思うことについての考えを、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、地球で起きている問題についての意見を、話すことができる。	助けがあれば、地球で起きている問題に対してできることについての考えを、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	目標	国際社会や日々の生活の中で大切だと思うことについての考えを、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A)	地球で起きている問題についての意見を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	地球で起きている問題に対してできることについての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	国際社会や日々の生活の中で大切だと思うことについての考えを、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	地球で起きている問題についての意見を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	地球で起きている問題に対してできることについての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	国際社会や日々の生活の中で大切だと思うことについての考えを、伝え合う姿勢が見られる。	地球で起きている問題についての意見を、話そうとする姿勢が見られる。	地球で起きている問題に対してできることについての考えを、書こうとする態度が見られる。
	c	助けがあれば、国際社会や日々の生活の中で大切だと思うことについての考えを、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、地球で起きている問題についての意見を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、地球で起きている問題に対してできることについての考えを、何とか書こうとする態度が見られる。